



日本共産党 北区議会議員

# のの山けん 区政レポート

https://ken-nonoyama.com/ mail@ken-nonoyama.com

No.744 2025.2.13

日本共産党北区議員団

〒114-8508 王子本町1-15-22

ご相談は  
お気軽に **090-2156-3510**

「実質的に過去最大となる**積極的予算**」といいながら

年度末と新年度で  
**約80億円**を**積み立て**に

区民の税金は、暮らし・営業の応援にこそ

北区は7日、2025年度予算案を発表しました。一般会計の予算総額は前年度比103.7億円、5.7%増となる1917億円3300万円。特別区民税が9.4%、特別区交付金が7.2%、国・都支出金が9.2%など、主要財源がのきなみ増収となります。区はこの予算案について「実質的には過去最大となる積極的予算」と謳っています。

**財調基金は過去最大228億円に**

中でも、前回補正までに約75億円を取り崩す予定だった財政調整基金（使途が定められていない基金）は、今年度最終補正で約25億円の取り崩しで済み、結果として50億円の増収に。今年度末の財調基金残高は、過去最高の228億円まで積み上

がる見通しとなりました。

**将来的な行財政需要への備えというが…**

こうした下で区は「将来的な行財政需要への備え」として、年度末補正予算で49.6億円、さらに新年度予算で30億円、総計79.6億円を新庁舎整備やまちづくりなどの特定目的基金に積み増す計画です（**囲み参照**）。

しかし物価高騰で区民生活は疲弊、中小事業者は苦境に立たされており、税金は暮らし・営業の応援にこそ充てるべきです。

21日からの予算議会では、しっかりと見直しを求めています。（のの山けん）



## 北区の基金積み立て計画

年度末補正予算 **49.6億円**

※新庁舎整備のうち9.6億円は、区役所第4庁舎売却による収入の繰り入れ



新年度予算 **30億円**

補正予算  
+  
新年度予算



タワマン誘致の市街地再開発、赤羽小移転、赤羽公園存続…

# 議論も結論も先送りに

## 第9回赤羽駅周辺地区まちづくり基本計画策定検討会



区が「基本計画(案)」に盛り込もうとしている「重点区域」の範囲。赤羽小学校敷地を取り込んだ市街地再開発計画への布石なのか。

5日、第9回赤羽駅周辺地区まちづくり基本計画策定検討会が開かれ、事務局である北区から基本計画の内容が提案されました。

「タワマン必要なし」の意見が多数に

提案に先立ち、昨年12月に行われたオープンハウス型説明会でのアンケート結果が報告され、2日間で167人が来場した中で、「タワマン・高層ビルは必要ない」など、タワマンシジョン建設への懸念を表明する意見が多数に

基本計画の目的を一方的に改変

見が35通と多数に上りました。検討会でもタワマン建設や赤羽小学校の移転に反対する意見が出されましたが、昨年10月の第7回検討会で、区が突然、基本計画の目標を改変し、具体的な整備計画は「次年度以降の検討」としたため、委員からの発言に、「それは次年度以降に議論すること」などと仕切られる場面がたびたび

### まちづくり基本計画



### 次年度以降の検討



区は検討会の途中で本来の目的を改変、基本計画は「大きな姿を示す」だけとして、まちづくりの手法(修復型か再開発か)、赤羽小や赤羽公園、赤羽会館の改築・整備方針などは、「次年度以降の検討」へ先送りしようとしている。

ありました。次回3月26日の第10回検討会で、基本計画(案)が決定される予定です。(のの山けん)



## 夜のエンターテインメント

6日、恒例の民商夜オリへ。3500円で王子の街を食べ歩き・飲み歩き。今回も、意外な穴場のお店を発見することができました。(のの山けん)